

は千人惣數を云々士一ふある五十人なり
分給ふ處と云々千人の云士を云々あるて六處
と處祖志と云々や、車と云々者車の事と云々
者車とは灰車をいふなり、轡り思の色は處
田村あり處人の料を出し、々々の名と云々、國
府の出羽郡とありてその後田川郡と云々夏
お件のこと、健兒は日本書紀より力人と刑
を、應刑姓來ふ、あんでいと刑を抄に健兒
而ハを豎若黨發給而云々といふ、誤と云々
近年の言用集より、件留の語と云々とあり

皇極紀元年六月、命健兒スミイトラシムお撲ウツ於翹岐前云
續日本書紀十二、云々天平十年夏五月庚
午、停東海、東山、山陰、山陽、西海等、及諸國、健
兒ナリ云々、同天平宝字六年二月辛酉、簡點エラヒ停
幣、至江、吳、越、越前、小、田、郡、目、子、及、百、姓
年、四、十、已、下、二、十、已、上、練、習、弓、馬、者、以、為、健、兒
其有、死、關、及、老、病、者、以、與、替カヘとあり、延、嘉
式、二、十、八、詔、必、健、兒、衆、下、に、出、羽、國、一、百、人、と
あり、同、二、十、又、云々、出、羽、國、正、稅、衆、下、に、健、兒
糧、料、又、百、八、十、四、百、二、束、と云々、長、上、と云々ハ